

Information ご利用案内

★プラネタリウム投影開始時刻(1回の投影時間は、約50分間です。)

	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目
平日	9:50 (団体専用)	11:10	13:10	14:30	15:50
土・日・祝日	9:50	11:10 (キッズプラネタリウム)	13:10	14:30	15:50

※学校長期休暇中の平日は、第1回目9:50も投影します。

★休館日

毎週月曜日・第2火曜日・年末年始(12月27日～1月4日)
ただし、月曜日が国民の休日・祝日となる日は開館し、翌日が休館となります。

平成24年は12月26日(水)まで営業します。
平成25年は1月5日(土)から営業します。

★開館時間

午前9時30分より午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

★観覧料

	大人	中学・高校生	小人
一般	700円	400円	300円
団体(30人以上100人未満)	630円	360円	270円
団体(100人以上)	560円	320円	240円
年間パスポート	2,000円	1,000円	700円

※年間パスポートは購入時から1年間、何度でもご利用いただけます。ただし、コンサートイベント等ご利用できない場合があります。

※高齢者割引、身障者割引を行っています。

★駐車場

普通自動車・マイクロバス(2時間まで):200円(約90台)
バス(1回):1,500円(大型バス8台)

★施設概要

日本標準時の基準となる東経135度子午線の通過地に建てられた「時と宇宙の博物館」です。プラネタリウムは現役では日本最古、稼働期間も日本一です。



- JR 明石駅下車 東へ1km(徒歩約15分)
- 山陽電鉄人丸前駅下車 北へ約0.2km(徒歩約3分)
- 車では国道2号線人丸前交差点から北へ約0.2km
- 第二神明道路 大蔵谷I.C. から南西へ約3km
- 明石海峡大橋からは垂水出口を左折し、約6kmで国道2号線へ。国道2号線を西へ約4km(約20分)

明石市立天文科学館

http://www.am12.jp/
携帯サイト http://www.am12.jp/i/

〒673-0877 兵庫県明石市人丸町2-6
TEL.078-919-5000/FAX.078-919-6000
e-mail: info@am12.jp



星空のレシピ

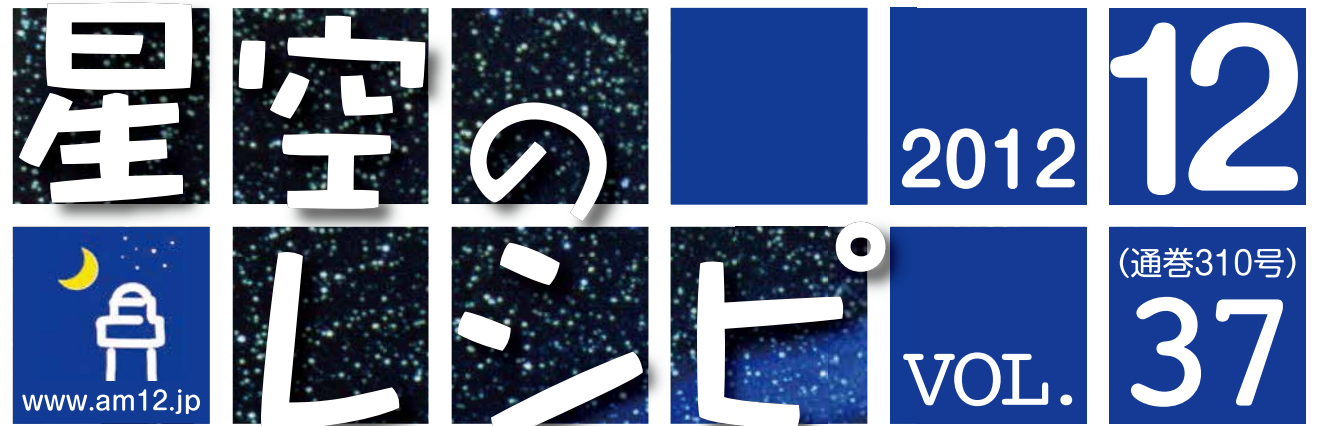
VOL. 37

2012

12月号

★★ 星空のレシピ VOL.37 (通巻310号) 平成24年12月1日発行
★発行/明石市立天文科学館 〒673-0877 明石市人丸町2-6 TEL078-919-5000

明石市立天文科学館 広報誌「星空のレシピ」 時と宇宙を88倍楽しむお料理MOOK



特集: 2013年の天文現象



金星(右)と木星(左)の最接近(2012年3月14日:明石市大久保町江井ヶ島海岸)

セイコー電波クロックは、いつでも「日本標準時」を刻みます。

セイコー電波クロックは、時刻合わせのいらない時計!

テレビや電話の時刻情報と同じ「日本標準時」をのせた電波を時計内のアンテナでキャッチ。毎日時刻を自動修正します。

電池を入れたら、自動的に時刻合わせがスタート!

電池をポンと入れるだけ。自動的に日本標準時に修正します。

掛時計 安心ライト

揺れを感知してライト点灯

暗闇での地震でも周囲を照らして心強い! さらに暗い時に時刻を読み取りやすい光センサーライトも搭載!



KX350B 税込14,700円
直径300x67mm 1.3kg

掛時計 薄型ソーラープラス

光エネルギーで動くソーラー

明るい場所なら光エネルギーだけで動き続けます。すっきりとした、薄型タイプの掛時計です。

SOLAR+
SF505W 税込26,250円
直径315x36mm 1.2kg

*グリーン購入法対応



掛時計 温度、湿度、カレンダー付

便利な情報一括表示!

正確な日付、曜日、時刻に加えて、お部屋や健康管理にも役立つ温度、湿度も表示。

KX352B 税込8,925円
直径350x45mm 1.4kg



●掲載商品の価格はすべてメーカー希望小売価格です。●電波は地域、地形、建物、天候、時間帯、設置場所により受信できない場合もあります。●電波を受信してから次に受信するまでの間は、クォーツの精度で動作します。

http://www.seiko-clock.co.jp セイコークロック株式会社

2013年の天文現象

1月

- 1日 元旦
- 3日 しぶんぎ座流星群極大
- 5日 小寒
- 20日 大寒

2月

- 4日 立春
- 17日 水星が東方最大離角
- 18日 雨水

3月

- 5日 啓蟄
- 11日 パンスタース彗星が太陽に最接近
- 20日 春分

4月

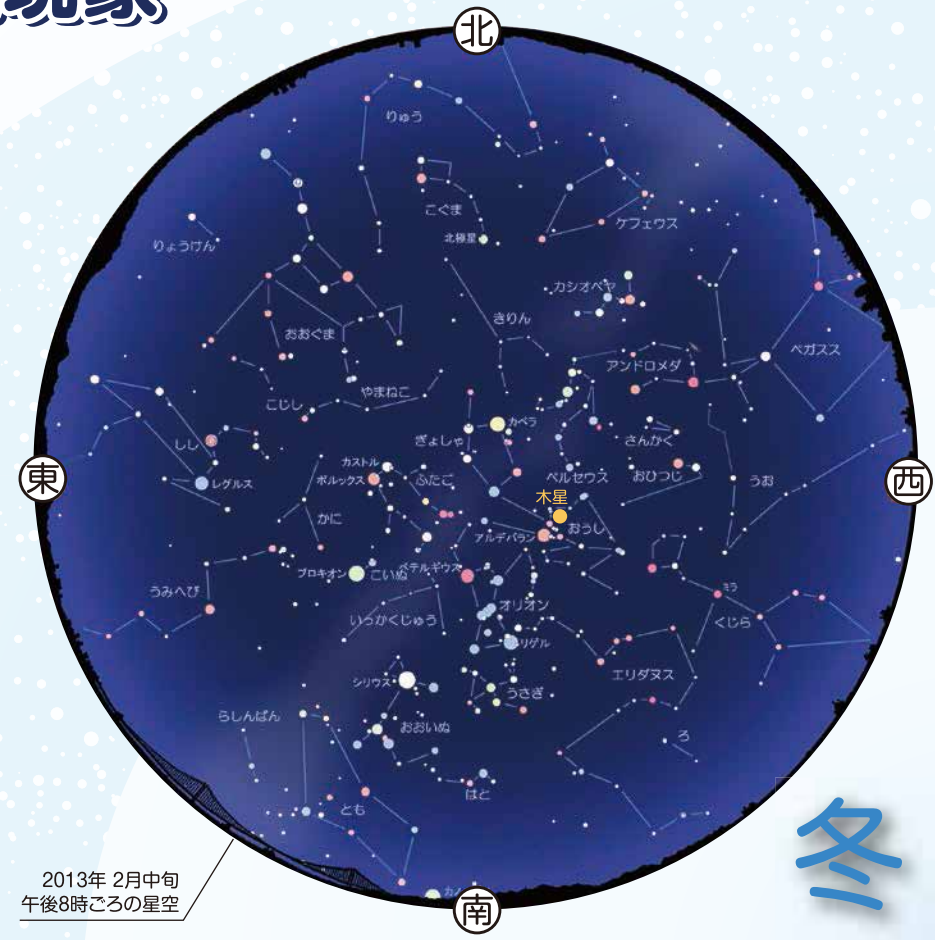
- 1日 水星が西方最大離角
- 5日 清明
- 14日 月(月齢4)・木星・アルデバランが並ぶ
- 20日 穀雨
- 22日 こと座流星群極大
- 26日 部分月食(月没帯食・低空)食の始め4:52
- 29日 土星が衝

5月

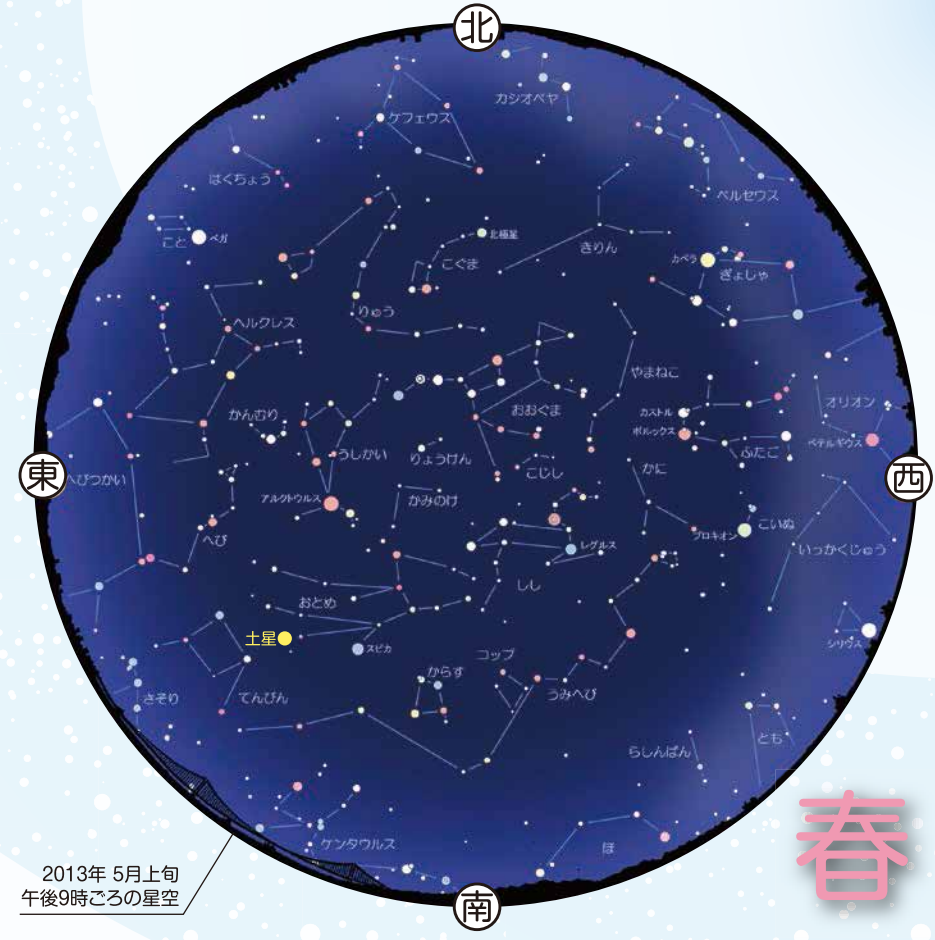
- 5日 立夏
- 6日 みずがめ座η流星群極大
- 10日 オーストラリアなどで金環日食
- 11日~12日 金星・月(月齢1~2)・木星が並ぶ
- 21日 小満
- 26日前後 金星・木星・水星が集まる

6月

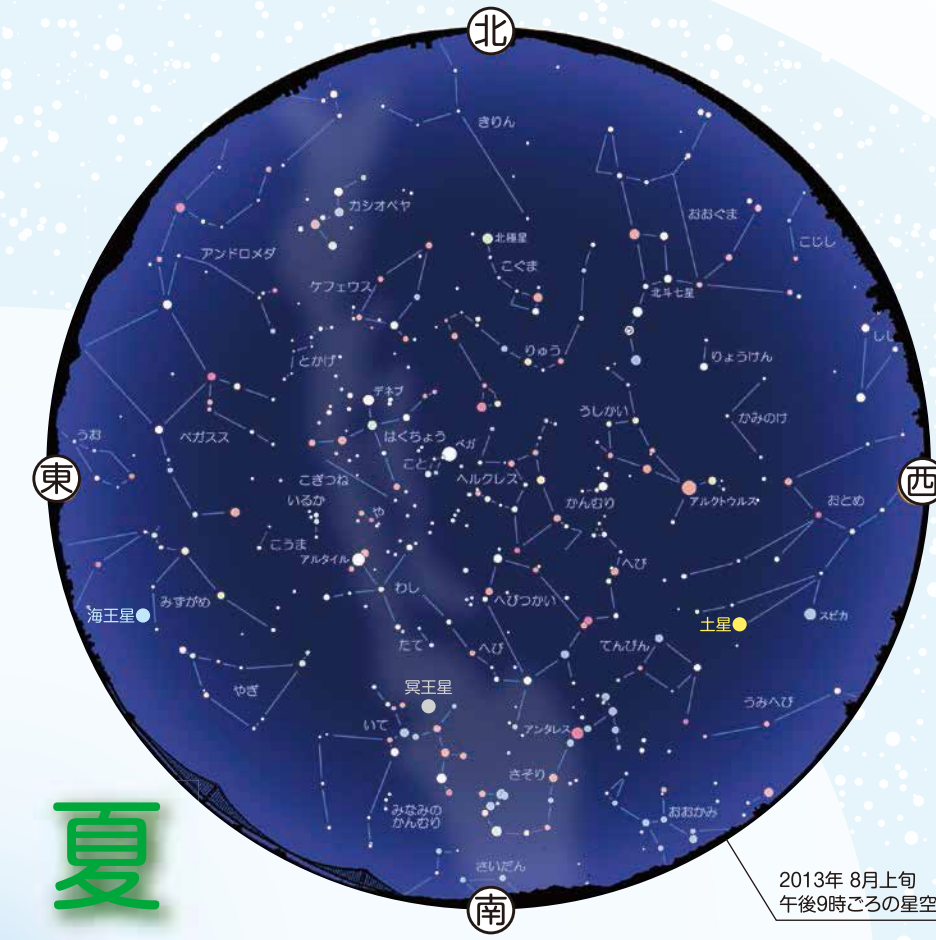
- 5日 芒種
- 13日 水星が東方最大離角
- 21日 夏至



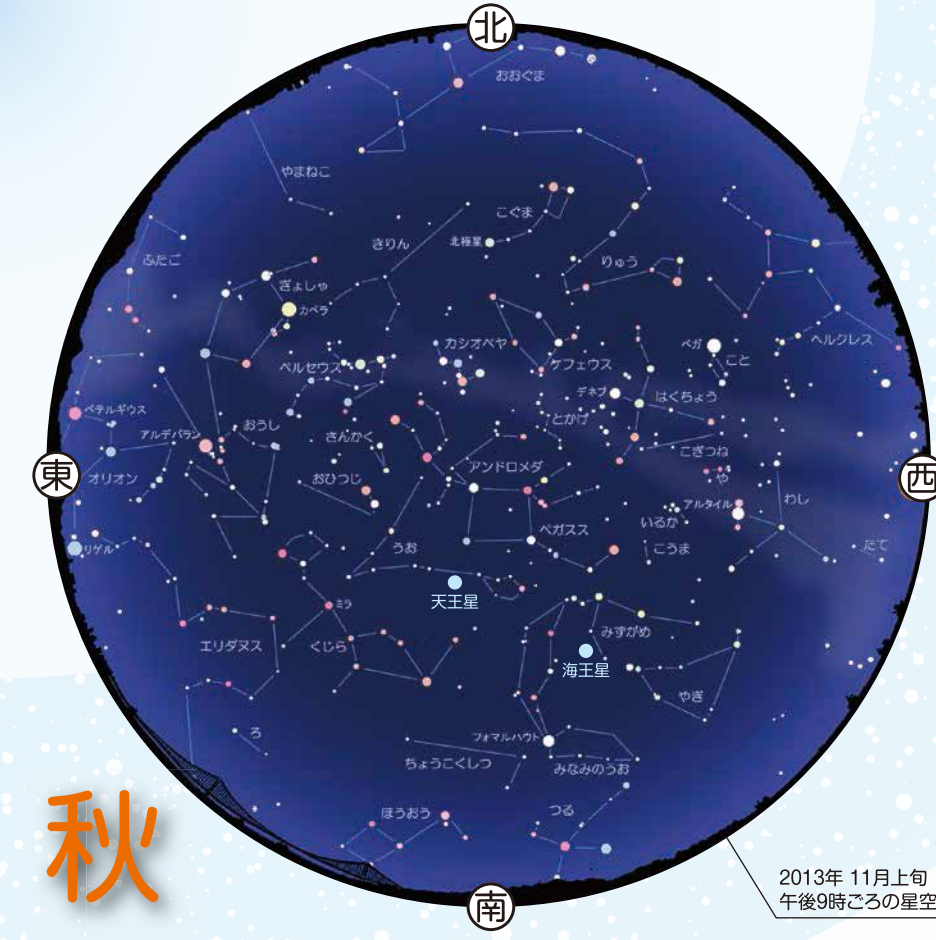
2013年 2月中旬
午後8時ごろの星空



2013年 5月上旬
午後9時ごろの星空



2013年 8月上旬
午後9時ごろの星空



2013年 11月上旬
午後9時ごろの星空

7月

- 3日 くじら座ミラが極大
- 7日 小暑
- 22日 明け方火星と木星が接近
- 23日 大暑
- 30日 水星が西方最大離角

8月

- 7日 ツァイス初号機工場で完成して90周年
- 12日 立秋
- 12日 スピカ食(薄明中)潜入18:44頃
出現19:18頃 月齢5.5
- 13日 ペルセウス座流星群極大
- 13日 旧七夕
- 23日 処暑
- 27日 海王星が衝

9月

- 7日 白露
- 9日 金星・月(月齢4)・土星が集まる
- 18日 金星・土星が並ぶ
- 19日 中秋の名月
- 23日 秋分

10月

- 4日 天王星が衝
- 7~8日 月(月齢1~2)・水星・土星・金星が集まる
- 8日 寒露
- 9日 水星が東方最大離角
- 21日 ツァイス初号機ドイツ博物館で初公開
から90周年
- 21日 オリオン座流星群極大
- 23日 霜降

11月

- 1日 金星が東方最大離角
- 3日 アフリカで金環・皆既日食
- 7日 立冬
- 中旬 エンケ彗星が見られる
- 18日 水星が西方最大離角
- 18日 しし座流星群極大
- 22日 小雪
- 29日 アイソン彗星が太陽に最接近

12月

- 2日 水星食(薄明中・出現のみ・低空) 月齢28.3
- 7日 大雪
- 10日 金星が最大光度
- 14日 ふたご座流星群極大
- 22日 冬至
- 若田光一ISS船長として長期滞在
- ※ アイソン彗星が夜明けの空に明るく見える

天文みどころカレンダー

● 望(満月) ● 下弦 ● 朔(新月) ● 上弦

⊖ 衝(真夜中に南中、観測好機) ⊠ 西矩(日出時に南中) ⊡ 東矩(日入時に南中) ■ 東方最大離角 ■ 西方最大離角

✕ 合・内合・外合(太陽の方向にあり観測できない) ★ 流星群極大日 ⊙ 食(天体がかくされる現象) ▲ 太陽に最も接近する日

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
月の暦	5日 12日 19日 27日 	3日 10日 18日 26日 	5日 12日 20日 27日 	3日 10日 18日 26日 	2日 10日 18日 25日 	1日 9日 17日 23日 30日 	8日 16日 23日 30日 	7日 14日 21日 28日 	5日 13日 19日 27日 	5日 12日 19日 27日 	3日 10日 18日 26日 	3日 10日 17日 25日 		
水星	1/18 ✕ 外合	東方最大離角 2/17 夕方に見える	3/4 ✕ 内合	西方最大離角 4/1 明け方に見える	5/12 ✕ 外合	東方最大離角 6/13 夕方に見える	7/9 ✕ 内合	西方最大離角 7/30 明け方に見える	8/24 ✕ 外合	東方最大離角 10/9 夕方に見える	11/2 ✕ 内合	西方最大離角 11/18 明け方に見える	12/2 水星食	12/29 ✕ 外合
金星	 明けの明星			3/26 ✕ 外合			かに座 しし座	おとめ座	てんびん座	さそり座	東方最大離角 11/1 いて座	やぎ座		
火星	やぎ座 夕方に見える			4/19 ✕ 合				ふたご座	かに座	しし座	しし座	しし座	おとめ座	
木星	おうし座 	2/22 東矩 夕方に見える	おうし座 			6/20 ✕ 合		ふたご座 	10/16 西矩 明け方に見える	ふたご座 		一晚中見える		
土星	1/27 西矩 明け方に見える	てんびん座 	4/29 衝 一晚中見える	おとめ座 	7/24 東矩 夕方に見える	おとめ座 					11/17 ✕ 合			
天王星	うお座 夕方に見える		3/29 ✕ 合		うお座 	7/2 西矩 明け方に見える	うお座 	10/4 衝 一晚中見える	うお座 	12/29 東矩 夕方に見える				
海王星		2/21 ✕ 合		5/30 西矩 明け方に見える	みずがめ座 	8/27 衝 一晚中見える	みずがめ座 	11/29 東矩 夕方に見える						
流星群	極大 1/3 しぶんぎ座流星群		極大 4/22 こと座流星群	極大 5/6 みずがめ座η流星群		極大 8/13 ペルセウス座流星群	極大 7/28 みずがめ座δ南流星群	極大 10/9 りゅう座(10月)流星群	極大 11/12 おうし座流星群	極大 10/21 オリオン座流星群	極大 11/18 しし座流星群	極大 12/14 ふたご座流星群		
彗星		3/11 パンスタース彗星								11/29 アイソン彗星				
その他			4/26 部分月食	5/10 金環日食(オーストラリア)			8/12 スピカ食			11/3 金環 - 皆既日食(アフリカ)				

天文トピックス

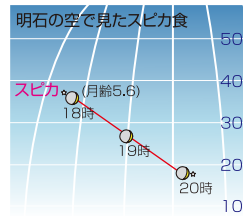
スピカ食と水星食

●8月12日 おとめ座の1等星スピカの食

日没のころ、おとめ座の1等星スピカが、月にかくされます。東北地方よりも南の地域で見ることができます。



ステラナビゲーターより



南西

●12月2日 水星食

水星が月にかくされます。日の出の頃、全国で月にかくされた水星が出現します。この時期は夜明けのアイソン彗星と共に注目されるでしょう。

★明石市の見え方 出現開始 6:28:18 出現終了 6:28:29

彗星見られるかな?

●3月-4月 パンスタース彗星 (C/2011L4)



「パンスタース彗星」は、ハワイ大学の全天観測プロジェクト「パンスタース計画」で発見された彗星です。2013年3月11日に太陽に最接近します。3月中旬西の低い空に見えるときに、肉眼でも見えるほどに明るくなるかもしれません。

●11月-12月 アイソン彗星 (C/C2012S1)

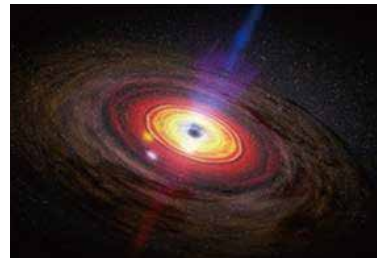
ロシアの天体観測チームが2012年に発見した新彗星です。2013年11月には肉眼で観測できる明るさになります。



11月29日に太陽のわずか約190万kmまで接近。12月上旬には未明の東空で長い尾が見られると予想されています。2013年で最も期待される天体現象です。

ブラックホール

天の川銀河の中心で、ブラックホールに接近するガス雲が確認されています。このガス雲が、2013年ごろにブラックホールに衝突すると予想されています。



海外の皆既日食と金環日食

●2013年5月10日にオーストラリアで金環日食

オーストラリアで金環日食を見ることができます。現地時間8時44分頃に継続時間4分38秒の金環となります。



提供：伊藤和幸氏

●2013年11月3日にアフリカで金環 - 皆既日食

大西洋上で金環帯として始まり、400km進んだあたりで、皆既帯に変わります。アフリカの現地時間14時52分頃に継続時間1分6秒の皆既となります。



提供：大越 治氏

宇宙開発

●若田宇宙飛行士が、国際宇宙ステーションで長期滞在

若田光一宇宙飛行士が、国際宇宙ステーションに2013年の年末から約6ヶ月間長期滞在することが決定しています。日本人初のコマンダーとして、滞在期間中の指揮をとることになっており、フライトエンジニアとして、「きぼう」日本実験棟を含むISS各施設のシステム運用、科学実験をはじめとする宇宙環境の利用に重点をおいた活動などを行います。



ソコル宇宙服を着用した若田宇宙飛行士 (提供：JAXA/NASA)



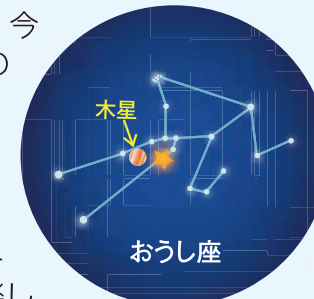
木星の見ごろはいつ?



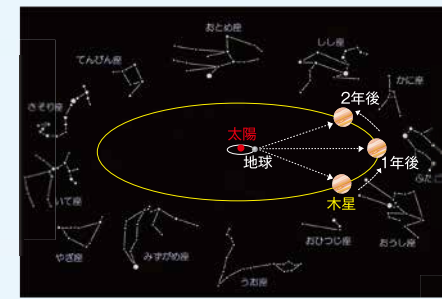
この頃、日の入り後東の空に、明るく輝く星が見えている。望遠鏡で見ると、しましま模様がある、この星は、木星だ。木星は、太陽のまわりをまわる太陽系の惑星で、太陽の光を受けて、夜空に輝いて見えている。木星の見ごろはいつだろう?

Q. 木星はいつも同じ頃、同じ場所で見えるの?

A. 木星は、今おうし座の中にあり、近くには他の冬の星座がたくさん見えているぞ。星座は、来年の冬にも同じように楽しむことができる。では、木星も来年に同じ位置に見ることができるのだろうか? 答えは「できない」だ。



今年の木星



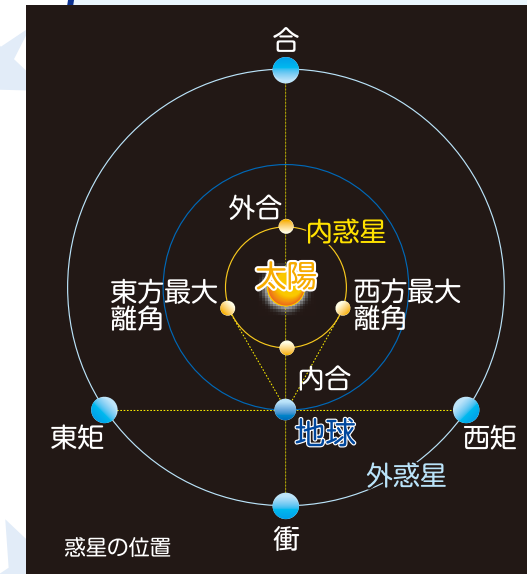
これからの木星の動き

星座は、毎年同じ季節に同じ星座を見ることができる。しかし、惑星は、星座の中を動いていくので、見える時期は季節と関係がないんだ。木星は、太陽のまわりをまわりながら、12年かけて星座の中をひとまわりするんだ。

惑星は、太陽の通り道(黄道)の近くを動いていく。黄道の上には、星占いに使われるお誕生日の12星座が並んでいるぞ。木星は12年で星座の中を動いていくので、1年に1つずつ星座をうつつていくことになるんだ。

Q. 木星はどんな時が見ごろ?

A. 惑星の見え方は、太陽と惑星と地球の位置関係によって決まるんだ。惑星が地球から見て太陽と同じ方向にあるときは、「合(ごう)」といって、その頃には見ることができない。そして地球から見て太陽と反対側の方向にあるときは、一晩中見ることが出来るぞ。この時を「衝(しょう)」と言うぞ。木星は12月3日に衝となるため、この前後の時期が見やすくなるんだ。



金星など、地球よりも内側にある星は、太陽から東側に一番離れて見える「東方最大離角(とうほうさいだいいりかく)」の頃と、太陽から西側に一番離れて見える「西方最大離角(せいほうさいだいいりかく)」の頃が見やすくなるんだ。

内惑星(ないわくせい)は、夜中にみえない。しょうがない!(衝がない)

(ブラック星博士)

今夜の星空献立表

オリオン座は、明るい星が多い冬の空のなかでもひととき目を引く星座です。ギリシャ神話では、狙った獲物は逃さない腕のよい狩人でしたが、乱暴者でした。そのため大地の神を怒らせました。神が遣わせたさそりに刺されてしまいました。オリオンは星座になった後もさそり座を怖がるようになりました。別の話では、オリオンが森の中で月の女神アルテミスに仕えるプレアデス7人

姉妹を見かけました。オリオンは姉妹を気に入り近づきました。突然大男が現れたので、娘たちはびっくりし、アルテミスのもとへ逃げていきました。アルテミスは娘たちを鳩の姿にかえて空に逃がしました。

オリオン座の三ツ星を延長した先にプレアデス星団（日本名すばる）があります。オリオンは星になってもプレアデスを追いかけているようです。月の通り道（白道）はちょうどプレアデス星団とオリオン座の間にあります。月の女神はオリオンからプレアデスを守っているようです。ところでアルテミスは狩人のオリオンの腕前を認め、憎からず思っていました。

冬の満月はオリオン座の頭上に輝きます。月の光が周囲の暗い星を消し去り、オリオンの形がくっきりと夜空に浮かびます。月の女神がオリオンに逢いに来ているようです。2012年～13年にかけてはオリオンの頭上に木星が光ります。木星（ジュピター）はギリシャ神話ではアルテミスの父で、一番の実力者ゼウスと考えられました。父は心配そうに娘と屈強の狩人のデートをながめています。天界の絵巻はさそり座が昇るころまで続きます。



2012年12月～
2013年1月の星空

12月の天文現象

- | | | | |
|-----|---------------------------------------|-----|--------------------------|
| 3日 | 木星が衝（観望の好機。夜半に南の空。おうし座のアルデバランとならぶ） | 12日 | ふたご座流星群極大（12月5～20日。条件最良） |
| 5日 | 水星が西方最大離角（太陽からの角度18°37′。明け方東空に見つけやすい） | 12日 | ケレスが衝（観望の好機。夜半に南の空） |
| 10日 | ベスタが衝（観望の好機。夜半に南の空） | 21日 | 冬至 |

〈広告〉

望遠鏡・双眼鏡など光学機器専門店

ネイチャーショップ KYOEI

営業時間：10時～19時（日曜定休）

TEL 06-6375-9701

協栄産業株式会社 大阪店 <http://www.kyoei-osaka.jp>

〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目9-18 アースビル1F

TEL：06-6375-9701 FAX：06-6375-9703

ネイチャーショップ KYOEI 大阪店

●JR大阪駅・地下鉄各線梅田駅から徒歩約5分

★ イベントリポート

☆特別天体観望会

●10月7日(日)

特別天体観望会は、年4回小人数で、じっくり星を見るイベントです。その日の星空や天体のお話の後、2～3個の天体を観ます。今回は、良く空が晴れていたで、こと座のリング星雲やアンドロメダ銀河など5つの天体を観望することができました。次回は1月27日(日)です。



☆ブラック星博士の征服計画イベント 失敗談

ブラック星博士が明石を逃げ出し各地を襲撃しました。(※)
●10月8日(月・祝) 小牧中部公民館プラネタリウム。さむい冗談で「コマッキー」とともに場内を爆笑の渦に巻き込む。午後は一宮市広域文化広場プラネタリウム。「いちみん」と対決。爆笑にドームが揺れる。しかし、征服は失敗。

●10月9日(火) 名古屋ZIP-FMスタジオに乱入。クールなジョークに人気DJ小林拓一郎さん絶句。ブラック大満足。
●10月13日(土) とよた科学体験館プラネタリウム。最新プラネタリウムが暗黒に。
●11月2日(金) 静岡県浜松天文台。天文教室でダジャレ爆弾炸裂。

●11月3日(土) 富山県黒部市吉田科学館プラネタリウム。笑撃の登場。「ガリレオ博士」(大西浩次先生)の反撃にあえなく沈没。

中部エリアを右往左往した征服計画は、子どもたちの笑い声の余韻を残しつつ失敗に終わったようです。

(※一応依頼されて襲撃しています)



☆幼児投影「おつきみアワー」

●9月1日(土)～10月28日(日)

幼児を対象としたプラネタリウム「おつきみアワー」を実施しました。

「月見のタベコンサート」チケット払い戻しのおしらせ

台風の影響で中止になった9月30日のコンサートのチケットを払い戻します。
期間/ 12月26日(水) まで
場所/ 天文科学館のみ
※必ずチケットをご持参下さい。

プラネタリウムで秋の星座や月のお話を聞いてもらい、ロケットで月旅行にも出かけました。

クイズや月のお話をしてくれた天文科学館のねすみのキャラクター「ちょろすけ」は、子ども達に大人気でした。

☆人と自然の博物館記念事業 シゴセンジャー出席

●10月14日(日)

兵庫県立人と自然の博物館20周年記念イベントにシゴセンジャーレッド、ピンク、イエローが登場しました。得意のクイズで会場を盛り上げた後には、ひとく博士等のキャラクターたちとともに、移動博物館「ゆめはく」のテープカットにも参加し、「ゆめはく」発進をお祝いしました。



☆JAXA講演会「激しく活動する太陽～地球の気候への関わり」と太陽観測会

●11月4日(日)

第1部では、太陽活動を専門とするJAXA宇宙科学研究所・清水敏文准教授より、太陽観測衛星「ひので」がとらえたダイナミックな太陽の活動と、活動の源となる磁場、地球への影響等について講演をしていただきました。関心の高まる太陽活動の話題に、講演後、参加者からは多くの質問もありました。太陽観測についてはまだまだ解明できていないことも多く、「科学的に理解することが必要」と観測の重要性を伝え、講演を締めくくられました。

第2部は、天文科学館16階観測室で太陽観測会です。あいにくの曇り空でしたが、薄雲のかかった太陽の姿を、太陽観測フィルターや太陽投影板で、多くの来館者に観察していただきました。



プレゼントコーナー

天文科学館ペアチケット 5組10名様に当たる!



「星空のレシピ」37号の感想を書いてプレゼントに応募しよう!

「2013年の天文現象」特集をはじめとする今号はいかがでしたか?次号もどうぞお楽しみに!!

プレゼントの応募方法

- ★本誌に関するご意見・ご感想などを、住所・氏名をご記入の上、ハガキまたはFAXでお送りください。
- ★プレゼントの当選は発送をもってかえさせていただきます。応募者多数の場合は、抽選となります。

締切 平成25年1月29日(火) 必着

あて先

切手 67330877

明石市人丸町2-6
明石市立天文科学館
「星空のレシピ 37号」
プレゼント係

おもて

① 本誌に関するご意見・ご感想

② 住所

③ 氏名

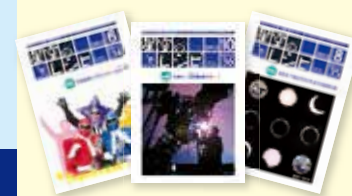
うら (FAXはうらのみ)

FAXの場合は 078-919-6000 まで

本誌の配布先

次号は2月に発行の予定です。

本誌は、天文科学館で配布しているほか、各市民センターやサービスコーナー等の市の施設、近隣の関係機関他(博物館・明石や神戸の医院・銭湯・観光ホテル・旅行会社等)にも配布しています。



12月・1月のイベント案内



休館日のお知らせ

12	1	2
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28

赤文字：開館
青文字：休館
○：工事のため臨時休館

天体観望会の申し込みについて

◆観望料 1人 200円 ◆電話番号 (078) 919-5000
◆申込方法 開催日の1ヶ月前から前日までに電話又はHPからお申し込み下さい。 ◆定員 100名

代表者の氏名・参加人数・電話番号・駐車場の利用の有無をお知らせ下さい。駐車場ご利用の場合は別途 200 円が必要です。



プラネタリウム一般投影

解説員が、その日の夜に見える星空と、期間ごとのテーマにそったお話をわかりやすく紹介します。

★人類の夢 月から火星へ 12月1日(土)～12月26日(水)



人類が月を離れて40年。有人探査について解説します。

©NASA

★日本の星・アジアの星

1月5日(土)～2月28日(木)

星の名前をつけたのは西洋の人たちだけではありません。日本やアジアでの星の話を紹介します。



羽子板星



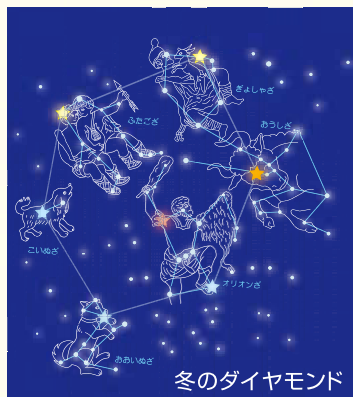
キッズプラネタリウム

幼児や小学校低学年を対象とした子ども向けプラネタリウムです。毎週土曜・日曜・祝日の第2回目の投影に実施します。

★クリスマスアワー

12月1日(土)～12月24日(月・祝)

クリスマスにはどんな星や星座がみえるかな? クリスマスってなんだろう? サンタさんとお話ししてくれます。



冬のダイヤモンド

★キラキラふゆのダイヤモンド

1月5日(土)～2月24日(日)

冬の夜空には、明るい星がダイヤモンドのように並んで、キラキラかがやいています。冬の星や星座についてお話しします。

※イベント等により内容を変更することがあります。



ジュニア天文教室

毎月第四土曜日の1回目のプラネタリウムです。小学4年生以上を対象とした天文教室です。

12月22日(土) 2013年の天文現象

1月26日(土) 木星と衛星



特別展

★2013年 全国カレンダー展

12月15日(土)～1月27日(日)

企業や公共機関が発行する新年カレンダーや、各国大使館等から提供される世界のカレンダーを展示します。



プラネタリウムコンサート

素敵なお話と満天の星空をお楽しみください。

★クリスマスJAZZコンサート

〈日 時〉12月22日(土) 18:30開演 (18:00開場)

※コンサート終了後に天体観望会を行います。(天候により中止)

〈出演者〉

辛島すみ子 with Friends

辛島すみ子(ボーカル)

高岡 正人(ピアノ)

宮野 友巴(ベース)

里村 稔(サクソ)

〈場 所〉 明石市立天文科学館

2階プラネタリウムドーム

〈前売りチケット〉 700円

〈チケット販売場所〉

明石市立天文科学館・セブンイレブン明石市役所店・アスパラ明石 (4Fコミュニティステーション)・蔵松堂(JR大久保駅前)・ステーションプラザ明石西館 観光案内所



辛島すみ子



その他のイベント



★新春お年玉スペシャル2013

1月12日(土)～14日(月・祝)

9:30～17:00 (最終入館16:30)

新春お年玉スペシャルを開催します。楽しいイベントが盛りだくさん!! シゴセンジャーも登場します。

★プチ・ナイトミュージアム

午後5時で閉まった天文科学館を夜に探検してみましょう。(定員: 各回20名、事前申込制、参加費500円)

① 親子編 1月26日(土)

② 友人編 2月 3日(日)

①② 17:30～19:30

往復ハガキに、希望日、参加者数(小学生以上と未満の内訳)、代表者の名前と電話番号、当日の駐車場の利用の有無を書いて、実施日の1ヵ月前までに天文科学館まで郵送して下さい。定員を超えた場合は抽選になります。

※期間中は大変混み合います。公共交通機関をご利用下さい。



夜の科学館を
探検しよう!

12月

～12月26日(水)

「人類の夢 月から火星へ」

～12月24日(月・祝)

「クリスマスアワー」



12月15日(土)～1月27日(日)

「2013年 全国カレンダー展」

12月1日(土)
18:30～(受付18:00～)
「すばる」【予約制】

1月27日(日) 18:30～(受付18:00～)

「特別天体観望会」【予約制】

～特別天体観望会への参加方法～
開催日の3週間前までに往復はがきにより、お申込みください。
1枚のはがきにつき1回の特別天体観望会、最大4名まで申し込むことができます。 定員 20名 参加費 500円

12月16日(日)
14:30～15:20

12月22日(土)【前売券制】
18:30開演 (18:00開場)
「クリスマスJAZZコンサート」

12月22日(土) 9:50～10:40
「2013年の天文現象」

1月

1月5日(火)～2月28日(木)

「日本の星・アジアの星」

1月5日(土)～2月24日(日)

「キラキラふゆのダイヤモンド」

2月2日(土)～4月7日(日)

「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」

1月19日(土) 18:30～(受付18:00～)

「木星」【予約制】

2月3日(日) 17:30～19:30
「プチ・ナイトミュージアム」
(友人編)

1月26日(土) 17:30～19:30
「プチ・ナイトミュージアム」(親子編)

1月20日(日)
14:30～15:20

1月12日(土)～1月14日(月・祝)
「新春お年玉スペシャル2013」

2月9日(土)【前売券制】
18:30開演 (18:00開場)
「バレンタインコンサート」

1月26日(土) 9:50～10:40
「木星と衛星」

略号

プラネタリウム
一般投影

キッズ
プラネタリウム

特別展

観望会

プラネタリウム
コンサート

星と音楽の
プラネタリウム

ジュニア
天文教室

季節イベント

学校・園と力を合わせてこんなことをしています!

天文科学館では、子どもたちの「夢」と「学び」を育むために学校・園と連携した事業や研修会を実施しています。その取り組みをご紹介します。



夏休みに児童生徒が作製した作品の展示、表彰式などが9月～10月にかけてありました。

展示①「市内小学校理科作品展」 9月15日～9月26日

夏休みの作品として市内小学校2校(藤江小、谷八木小)に協力してもらい、夏休みの理科作品を展示しました。



展示②「明石市内市立中学校理科作品展」 9月27日～10月14日

市内市立中学校13校の各校代表作品71点を3階特別展示室、14階展示室に展示しました。来館されたお客様も中学生のがんばりに感心していました。



表彰式「宇宙の日」作文絵画コンテスト表彰式 10月14日

毛利衛さんが日本人宇宙飛行士として初めてスペースシャトルで宇宙へ飛びたった日は、1992年9月12日でした。この日を記念して、毎年9月12日を「宇宙の日」としています。

全国の科学館において宇宙に関するテーマ(今年度は「宇宙オリンピック」)に沿った作文と絵画を募集しました。当館も、明石市・神戸市をはじめ、近隣市町の小・中学生から計436点もの力作がよせられました。その中でも特に優秀な作品に「天文科学館賞」が贈られました。

